

令和2年4月30日

奈良県高等学校体育連盟加盟校
運動部の皆さんへ

奈良県高等学校体育連盟
会長 吉田 浩一

令和2年度全国高等学校総合体育大会及び全国高等学校定時制通信制大会の中止を受けて

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、全ての都道府県において緊急事態宣言が発令されている中、標記大会の実施を検討するために、4月26日(日)に臨時会議が、感染症の専門医を招き情報を共有した上で開催されました。協議の結果、本年8月に全国21府県で30競技の実施を計画していた、インターハイの全競技及び全国高等学校定時制通信制大会の中止が決定されたとの連絡が入りました。

運動部に加入している君たちにとって、この決定は、「残念」や「悔しい」という言葉だけでは言い表すことができない大変ショックなことであり、行き場のない怒りやぶつける先のないやるせなさを感じている生徒も多いのではないかと思います。高校生アスリートの夢舞台であるインターハイへの出場、あるいはその頂点を目指して、日々重ねてきた努力。先生の指導の下、部としての目標を掲げ、その目標達成に向けて仲間とともにこなしてきた厳しい練習。キャプテンを中心にミーティングを重ね、高めてきたチームワーク。全てがインターハイで最高の結果を残すための努力であったと思います。3月からは学校が臨時休業となり、部活動を実施する機会が大幅に制限され、シーズンインしてからも公式試合はもとより練習試合も開催されないという状態が続く中、それでも、必ずきつと出番は来ると、自分に言い聞かせ、モチベーションを保ってきていた人も多いはず。そのような中、今回の決定となり、君たちの心情を思うと、かける言葉が見当たりません。特に3年生にとっては、高校生活最後の大会をこのような形で終えなければならないことをすんなりと受け入れることは大変難しいのではないかと思います。

しかし、全都道府県に緊急事態宣言が発令され、日々感染者が増加している現状や、また、全国の多くの高等学校等が臨時休業となり、教育活動についての事態収束の見込みが立たない状況等を考えると、そして、何よりも命を守ることに優先すべきものはないということを思うと、今回の決定は致し方ないものだと言わざるを得ません。本当に残念ですが、今回の決定を飲み込んで欲しいと思います。

君たちがこれまで重ねてきた努力や、なかまとともに培ってきた連帯感や達成感、協調性は、貴重な財産です。これらはかけがえのない経験であり、インターハイが中止になったからといって、決して色褪せるものではありません。これからの君たちの長い人生にとって大きな糧となることに疑いはありません。

今後、安全に部活動が実施できる状況となった時点で、各競技団体がこれからの方向性や大会の在り方等を検討していくこととなります。それまでは厳しく辛い状況が続きますが、自分はスポーツが大好きだという原点を決して忘れず、今、各人ができることを精一杯こなしてくれることを願っています。